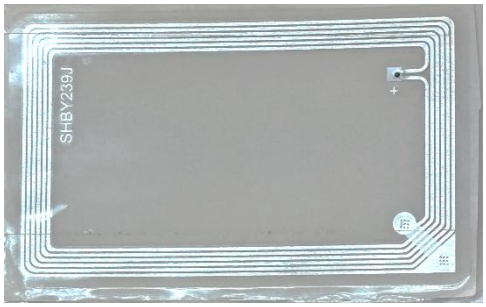

ＩＣタグ

情報を記録するＩＣチップと無線通信用
アンテナを組み合わせた小さなタグです。
電池を内蔵しないので自ら電波を発信せず、
ＩＣ機器から発信される電波を受信・通電して
ＩＣタグ内の情報をＩＣ機器に返信

バーコード

図書館資料コードとしてデータベースを検索したり
貸出返却操作に利用する。
現在市民図書館に導入している。
図書館システムで資料コードのバーコードをスキャン
すると資料コードでデータベースを検索し、資料の詳細資料を拾ったり、貸出予約などの操作に利用する。

バーコードの長所、短所

- 資料の検索、貸出返却には 1 冊ずつバーコードリーダーにかざす必要がある。
- バーコードは数字の羅列なので資料の詳細情報を管理するデータベースがないとコードから情報を引き出すことができません。
- 資料の無断持ち出しができてしまう（瑞浪市の場合令和６年度 184 点令和５年度１０７点令和４年度 165 点）
- 安価で利用ができ半永久的に利用が可能

ＩＣタグの長所、短所

- 複数のデータを一括で処理できる
- タグそのものにデータを書き込むことができる。
- 貸出返却の省力化ができる
- 自動貸出でプライバシーの保護
- ＩＣゲートにより不明本紛失が削減される
- 蔵書点検の短縮（４日間の作業が２日に短縮される）
- 関連機器の導入が必要
- 経常経費（タグ２０円作業５０円）
- 耐用年数が約１０年